

2025 年 11 月 5 日

各 位

株式会社北洋銀行

ほくよう生物多様性プロジェクトの一環として 「北海道生物多様性カード(第二弾)」を作成しました

北洋銀行(頭取 津山 博恒)は、北海道・札幌市・公益財団法人北海道環境財団(以下、北海道環境財団)と締結した「北海道の生物多様性に係る覚書」に基づき、2023 年 4 月から道内の生物多様性地域戦略の推進を目的とするほくよう生物多様性プロジェクトに取り組んでいます。プロジェクトの活動資金は、「SDGs(生物多様性)私募債」の寄付金により創出されています。

この度、本プロジェクトの一環として「北海道生物多様性カード」の第二弾を作成しました。このカードは、北海道にゆかりの深い動植物の生態を学ぶことを目的としており、道内の 4 動物園(札幌市円山動物園、旭川市旭山動物園、おびひろ動物園、釧路市動物園)で配布されます。詳細は別添チラシのとおりです。

当行は今後も、皆さまとともに北海道の生物多様性保全に向けた取組みを支援してまいります。

【一部カードのご紹介】



以上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。



北海道 生物多様性 カード (第二弾)

HOKKAIDO
Biodiversity Card



2025年11月頃より
北海道内4動物園で
順次配布開始！

Photo by Kazushi Yoneta

ほくよう生物多様性プロジェクトとは？

私たちが住む北海道では、近年の気候変動により動植物の生息・生育環境が大きく変化しつつあるほか、開発などにより人の活動域と野生動物の生息域が近接し、あつれきが生じるなど多くの課題を抱えています。これらの生物多様性保全に係る課題に取り組むため、北洋銀行、北海道、札幌市、北海道環境財団では「ほくよう生物多様性プロジェクト」に取り組んでいます。

北海道生物多様性カード

このカードは、北海道にゆかりの深い動植物の生態を学ぶことを目的に作成しています。今年も昨年度に引き続き、8種類の動物たちに焦点をあて作成しました。

問い合わせ先

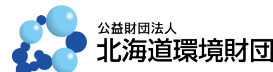
公益財団法人北海道環境財団 ☐ hokku@heco-spc.or.jp

生物多様性カードの特徴



- * 表面に写真を表示し、裏面には各種情報を掲載！
- * 一般的なトレーディングカードとほぼ同じ大きさ！
- * 支える(られる)ポイントで生きもの同士の関わりを学べます！
- * アイヌ語名を新たに表示しました！
- * カードの配布方法は裏面をご覧ください。

実施主体

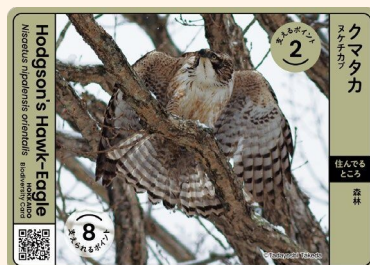


カード(第二弾)の紹介 ※第一弾の内容は表面のバーコードからホームページをご覧ください。

ヒグマ



クマタカ



エゾタヌキ



アカゲラ



エゾユキウサギ



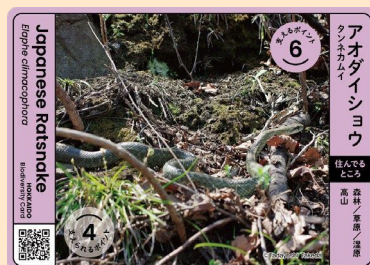
エゾアカガエル



エゾリス



アオダイショウ



カードの 配布方法

◎カードは、「札幌市円山動物園」「旭川市旭山動物園」「おびひろ動物園」「釧路市動物園」で配布しています。
◎配布日や配布方法は、各動物園により異なります(動物園への電話等での問い合わせはご遠慮ください)。
◎各動物園で配布するカードの種類は異なります(各動物園ごとのカードの配布種類はお楽しみ!)。
◎カードはそれぞれ2,400枚配布します。なくなり次第、配布終了となります。

2024 年度「SDGs(生物多様性)私募債」発行企業一覧
(企業名の公表に承諾いただいたお客さまのみ)

敬称略・私募債の発行日順

発行企業名	代表者
海同冷蔵株式会社	梅村 侑矢
株式会社秀岳荘	小野 浩二
株式会社フィッシュランド	佐藤 隆士
株式会社三光産業	高橋 佳夫
株式会社さっぽろテレビ塔	白濱 光人
株式会社耕電設	千葉 昌子